

熊建労5400人の力を合わせた

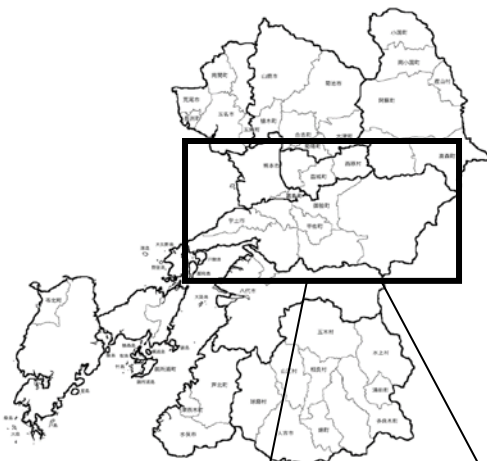
熊本地震救援ニュース

2016年5月31日(火)

第24号

発行 村上久義教宣部長
TEL096-283-7811

活断層の恐ろしさが分かる 同じ校区内でも被害はさまざま



熊本県全域図

これまでに宇城支部組合員223軒に元役員のを借りながら訪問しました。中には留守宅もありましたが、ほとんどの組合員か家族と対話することが出来ました。

下記に記した番号は、①御船分会 ②城南分会 ③豊野分会 ④美里分会 ⑤小川分会 ⑥富合分会 ⑦松橋分会 ⑧宇土分会 ⑨不知火・三角分会となり、それぞれの地域でも、組合員の状況・要求が違ってきます。まだ、100%ではありませんが、組合員から寄せられた状況をお伝えします。

(一部抜粋)

震源地周辺拡大図(宇城支部)



①多くの方が避難をされており、全壊から一部損壊等被害多数。いまだ車中泊や避難所生活の方が多い。②2階建てが平屋になった等被害が多岐にわたる。③ほとんど被害なしや瓦にひびが入ったなど ④付近の道路が通行できず仕事に行けない。被害は一部損壊多数。 ⑤明るいうちしか水が出ない。建物は何とか大丈夫だが、中の家財等の損傷あり ⑥いまだに水・ガスが来ていない地域がある。一部損壊被害多数。 ⑦瓦が落ちた・壁にひびが入った等の被害多数。 ⑧崩れた市役所がTVで放映された宇土市では、瓦落下や壁にひび等による雨漏りの被害が出ている。⑨問題ないもありますが、家を建て直さないといけないとの回答もあり。

上記は、訪問対話時の一部抜粋であり、全体を示すものではありませんが、り災証明書の発行が進み、内容に納得できない、片づけが進まないので渋々了承した、との意見も寄せられています。日曜日を中心に、これから本格的なボランティア活動が始まっていきます。